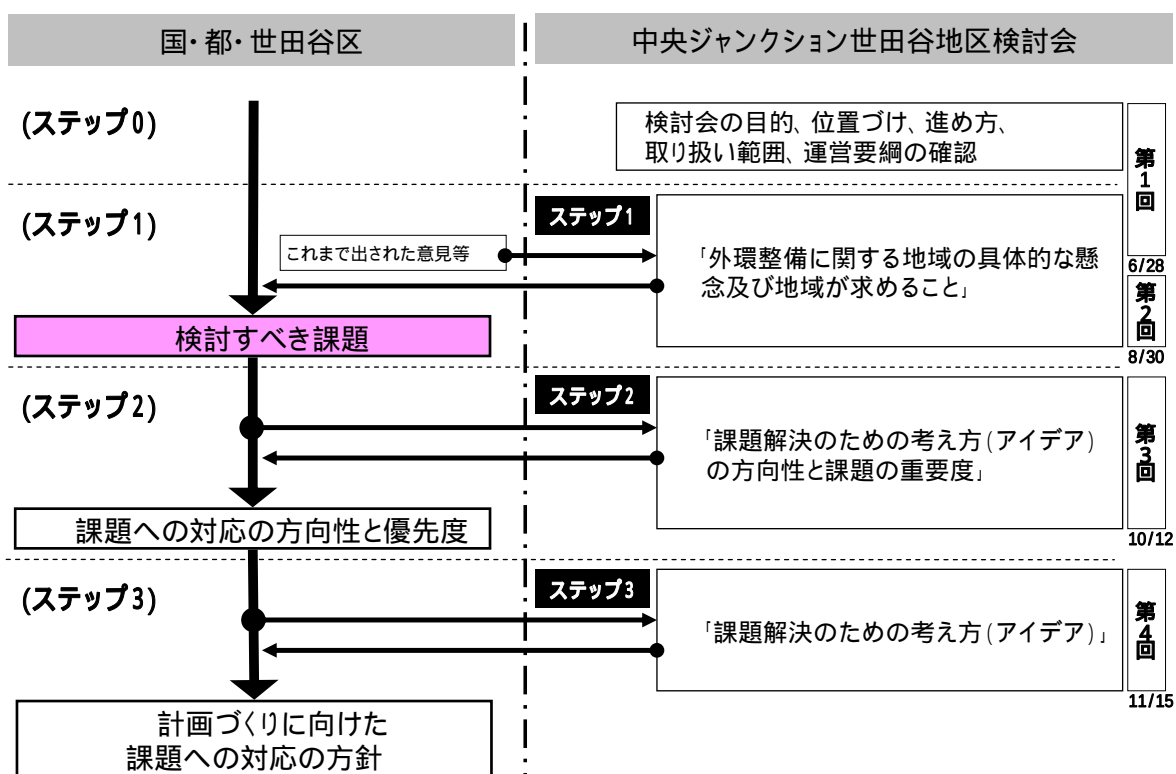


ステップ 1-2

検討すべき課題

- ・「外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること」の意見の趣旨を踏まえて、主催者が外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した課題を交通、環境などのテーマで分類しまとめたものです。



中央ジャンクション世田谷地区検討会

検討すべき課題

【本資料について】

- ・この『検討すべき課題』は、中央ジャンクション世田谷地区検討会においてステップ1の成果としてとりまとめられた『外環整備に関する地域の具体的な懸念及び地域が求めること』を受けて、主催者が整理したものです。
- ・地区検討会で頂いた懸念や期待について、主催者である国・都・区が、外環事業やまちづくりを検討する上でそれぞれの立場から現時点で認識した内容を示しています。

中央ジャンクション世田谷地区検討会 主催者

(国土交通省・東京都・世田谷区)

中央ジャンクション世田谷地区検討会

『検討すべき課題』 目次

1. 交通	1
(1) 地区交通	
(2) 幹線交通	
2. 環境	2
(1) 大気質	
(2) 騒音・振動	
(3) 地下水	
(4) 緑の量	
(5) 景観	
3. まちづくり	5
(1) まちづくり全般	
(2) 地域分断	
(3) 土地利用	
4. 安全・安心	7
(1) 交通安全・治安	
(2) 災害・事故時の対応	
5. 工事中	9
(1) 工事中の交通への影響	
(2) 工事中の環境への影響	
(3) 工事中の安全性	
6. 用地・補償	10
7. 計画検討の進め方	11
(1) 計画検討全般	
(2) 意見反映	
(3) 情報の提供	

1. 交通

(1) 地区交通

【検討すべき課題】

- ・生活道路に通り抜け車両などの交通量が増え、住宅街での渋滞が発生するのではないかと懸念
- ・周辺道路の整備により、周辺地域の移動の利便性が向上することへの期待

○関連する意見例

- ・吉祥寺通りが分断されることにより、生活道路に通過車両が進入してくるのではないかと懸念。
- ・白百合学園通りは、道路幅が狭いが、抜け道に利用する車の交通量が多く、大きい車両も通っている。現在よりも交通が混雑するのではないかと心配である。
- ・現在も東八道路、烏山通り、吉祥寺通りの渋滞を避け生活道路に車が流入している。インターチェンジの出入口ができれば間違いなくその状況は悪化する。
- ・外環境界部にある土地は接続道路がなく不便になる。
- ・現在、中央自動車道の側道が変則的で使いにくい(三鷹市内は側道が高速道路の片側で交互通行、世田谷区内は両側でそれぞれ一方通行)。
- ・中央自動車道の側道は、利便性が高く、地域住民が利用する主要な道路である。分断されて通れなくなることが心配である。
- ・当地区の道路網が外環の影響により渋滞が起これば外から通勤等で来る人にとっても困る。
- ・自転車の利便性向上と的確な交通対策を図ることにより、外環を含めた地域交通の問題解決に役立つことが期待できる。

(2) 幹線交通

【検討すべき課題】

- ・烏山通りや東八道路インターチェンジ周辺の道路の混雑についての懸念
- ・外環や周辺道路の整備により、周辺道路の混雑が緩和することへの期待

○関連する意見例

- ・東八 IC ができて、交通量が増えるが、周辺道路が未整備なので渋滞が起こることが心配である。
- ・都市計画道路補助 219 号線と烏山通り・中央自動車道の側道との交差点は鋭角に交差する危険な交差点になることにより、交通事故や大渋滞が発生することを懸念している。
- ・東八 IC を利用する交通が甲州街道に流れるため、吉祥寺通り、烏山通りなど甲州街道(国道 20 号)につながる道路が現状以上に渋滞することが懸念される。
- ・道路整備は計画通りに進まないことが多く、工期が長期化することが懸念される。それに伴う費用の増加や道路特定財源の一般財源化に伴い財源が確保されない場合、利用料金が高くなる可能性がある。利用料金が高くなると利用率が計画より下回り、計画通りに地域内の交通が減少しない可能性があり、それによる地域環境の悪化が懸念される。
- ・インターチェンジが東八道路1カ所だと、そこから甲州街道(国道 20 号)へ向かう車は烏山通りなどを通ることになり、今以上に渋滞がひどくなる。
- ・外環や周辺道路の整備により、甲州街道などの交通量が緩和される効果を期待している。
- ・都市計画道路網の整備において自転車専用レーンを設置することによって主要道路の渋滞解消を図ることができるため、交通利便性の改善が期待できる。
- ・自転車の交通量が今後増えた場合でも、自転車と歩行者が円滑かつ安全に通行できる道路の整備が必要である。
- ・外環整備と平行して、都市計画道路や主要道路(東八道路、吉祥寺通り、甲州街道(国道 20 号)、烏山通り)の整備を行い、今よりも快適な生活環境をつくってほしい。

2. 環境

(1) 大気質

【検討すべき課題】

- ・ジャンクション・インターチェンジや換気所、周辺道路などから発生する排出ガスによる大気質への影響についての懸念
- ・換気所の高さや機能に関する懸念

○関連する意見例

- ・中央 JCT のオープン部分からの排出ガスが心配だ。
- ・外環整備に伴い、大気質が悪化することを懸念する。
- ・換気所周辺の大気質が悪化するのではないかと。特に停電等の事故時に電気集塵機の故障で排出ガスが処理されずに周辺への影響が増加することが心配である。
- ・ジャンクションからの排気が心配。
- ・外環整備に関係する既存主要道路(吉祥寺通り、烏山通りなど)の交通量が増加して環境悪化(空気汚染、騒音)することが心配である。
- ・換気所が2箇所計画されており、大気汚染が起こるのではないかと心配である。
- ・トンネル出口付近に排出ガスがたまるとのではないかと心配である。
- ・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、ランプ部や料金所で渋滞が発生して、排出ガスの排出量が多くなるのではないかと心配である。
- ・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑でアップダウンも激しいので、アクセルを踏む回数が増えて、その分、排出ガスの排出量が多くなるのではないかと心配である。
- ・現状でも中央自動車道を通る車の排出ガスで干している洗濯物が汚れることがある。外環が整備されるとさらに排出ガスの影響が激しくなるのではないかと心配である。
- ・料金所や掘割部から出る騒音や排出ガスが多いのではないかと心配である。
- ・交通量が将来増える東八道路の周辺地域において、大気質の深刻な悪化が懸念される。
- ・現計画では、換気所はトンネル内の排出ガスの処理のために設けられる施設であるため、オープンのジャンクション部分から直接排出されるガスによる地域への影響が懸念される。
- ・幼稚園や学校など重要な場所を対象にした、外環による大気質の影響の予測調査が実施されているのか、実施済みだとして、予測データが子供の健康上問題ないのか心配である。
- ・換気所の高さが他の地域より低く、周辺に排出ガスの影響が増えるのではないかと心配である。
- ・外環の排出ガスの影響による喘息の悪化が懸念されるため、排出ガス処理の最新技術を導入してほしい。
- ・トンネル内の排出ガスを換気所に集中させて適切に処理できるのか不安である。
- ・排出ガスに含まれる有害物質、とくに重金属に対する不安があるため、換気所のフィルター装置の性能が気になる。
- ・換気所の高さが15mでは低すぎ、風が強いときなどそのまま周辺地域に排気が下りてくるのではないかと。
- ・換気所が十分に機能しているか、継続的にチェックするために、将来にわたって排出ガス調査データを収集し解析してほしい。

(2) 騒音・振動

【検討すべき課題】

- ・換気所から発生する騒音や振動、低周波音による影響についての懸念
- ・中央ジャンクション周辺地域での騒音や振動による影響についての懸念

○関連する意見例

- ・換気所は騒音を発生するのではないかと心配である。
- ・換気所から排出ガスを放出する際に低周波音が発生するが、その対策はできているのか心配である。
- ・換気所から上空に排気ガスを吹上げるときに風圧が高くなり風きり音が出ると思うので、影響評価を実施しているのであればデータを示してほしい。実施していないのであれば、追加調査してほしい。
- ・料金所や掘割部から出る騒音や排出ガスが多いのではないかと心配である。
- ・換気所の高さは低くても、排出ガスを100メートルまで吹き上げることができると聞いたが、吹き上げ装置の騒音は大丈夫なのか気になる。
- ・中央 JCT のオープン部分からの騒音悪化を心配している。
- ・ジャンクションからの騒音が心配。
- ・外環整備に関係する既存主要道路(吉祥寺通り、烏山通りなど)の交通量が増加して環境悪化(空気汚染、騒音)することが心配である。
- ・中央自動車道から3kmほど離れたところに住んでいるが、冬の明け方など静かな時間帯には車を通る音が聞こえる。ジャンクションの近くに住む人たちは、騒音による影響が出るのではないかと心配である。
- ・現状でも中央自動車道を通過する車の騒音や振動があるが、外環の整備後にどの程度の影響が出るのかを知りたい。
- ・ランプが高架になる箇所の下では低周波音が発生するが、その対策はできているのか心配である。

(3) 地下水

【検討すべき課題】

- ・地下構造物による地下水や湧水への影響についての懸念

○関連する意見例

- ・現在でも使われている井戸水等の地下水脈が外環工事により涸れることを心配している。
- ・災害時に生命線となる井戸が外環整備により影響があることを心配している。
- ・この地域には水脈があり、外環工事で水脈が切れて井戸水などに影響があるのではないかと心配である。
- ・高源院には湧水があり、外環工事で水脈に影響が出て、枯れてしまわないかと心配である。高源院の湧水は影響評価調査の対象に入っているのか。
- ・工事により、地下水脈(みずみち)が分断されることが懸念される。

(4) 緑の量

【検討すべき課題】

- ・地域の緑が減少するのではないかと懸念

○関連する意見例

- ・外環の整備は地域の緑が減少してしまうのではないかと心配している。
- ・緑多い地域であるが、中央 JCT、東八 IC ができるとその多くが失われることが懸念である。

(5) 景観

【検討すべき課題】

- ・換気所の高さを抑えることにより、良好な景観が形成されることへの期待

○関連する意見例

- ・換気所の高さは、低くても機能が十分に満たされるのであれば景観的には低い方がよい。

3. まちづくり

(1) まちづくり全般

【検討すべき課題】

- ・環境施設帯の有効活用への期待
- ・ジャンクション部利用の工夫などにより外環整備によってメリットが享受できる計画となることへの期待

○関連する意見例

- ・生活道路の通行機の確保とともに、地域の人が楽しく散策できるよう、環境施設帯に遊歩道や自転車道を設ける。
- ・この地域にはグラウンドなど、区の施設が少ない。中央高速道の高架下が野球などに使われており、そういった地域の需要があると思う。
- ・ジャンクション部分にできるかぎり蓋をかけ、その上の空間を活用して、地域コミュニティのための緑化や公園整備を行ってほしい。
- ・ジャンクション上部に蓋をかけて大きな環境施設帯をつくれれば、排出ガス対策や緑化だけでなく防災基地としても活用できる。
- ・烏山8丁目と9丁目はこれまであまり地域間の交流がなかったが、外環によって分断される可能性が出てきたことを契機に、絆が深まるよう、環境施設帯を利用した地域交流の場をつくりたい。
- ・環境施設帯を使った地域交流の場を作ることで、将来的に地域住民の資産になるようなよいものを残したいと思っている。
- ・環境施設帯を使って車が横断する道を確保するのは難しくても、徒歩で渡れる道が確保できれば、通学の際などに利用でき、完全な地域分断を避けることができると思う。
- ・環境施設帯の有効利用として、地表部に自転車道や遊歩道を整備してほしい。
- ・外環が整備されることにより渋滞が解消されて、エネルギーの有効利用につながることを期待する。
- ・外環の地表部分に覆いをするのであれば、覆いにソーラーパネルを貼るなどして積極的に外環整備によるメリットを生み出せるとよい。
- ・換気塔からの排気で発電するなど、外環の整備によりプラスの効果が生まれるように考えるべきである。
- ・振動で発電する実験が他の事例で行なわれていることを踏まえ、外環の計画においても同様な取り組みを検討してみるべきである。

(2) 地域分断

【検討すべき課題】

- ・地域のコミュニティが分断するのではないかとの懸念
- ・吉祥寺通りが分断され、歩行者、バス等の移動の利便性が低下するのではないかとの懸念
- ・通学路が分断されるのではないかとの懸念

○関連する意見例

- ・第六中学校の通学路の分断を解消するため、北野1丁目と2丁目の間の通行機能を確保する。
- ・外環の整備によって北野3丁目、4丁目と給田5丁目間の通行が分断されることが心配である。
- ・これまでの生活道路が外環整備により広範囲にわたりなくなると生活が成り立たない。
- ・地域が分断されることでコミュニティが崩れてしまうのではないかと心配である。

- ・中央道側道が分断されることにより、不便になる。
 - ・吉祥寺通りが分断されることにより、三鷹から烏山方面への移動が不便になる。
 - ・吉祥寺通りと中央道側道の2本の道路が使えなくなることにより、生活道路に通過交通が入ってくると怖い。
 - ・吉祥寺通りの分断による不便を解消するために、自転車・歩行者のアクセス動線を確保してほしい。
 - ・生活道路が分断されてしまう。
 - ・外環により生活道路が分断されるので利便性を確保するために環境施設帯に側道を作してほしい。
 - ・吉祥寺通りの分断を解消するため、吉祥寺通りから側道で三鷹都市計画道路 3・4・11 号線につながぐともに、調布都市計画道路 3・4・17 号線を同時に整備し、甲州街道(国道 20 号)までつなげる。
 - ・中川遊歩道は、千歳烏山駅周辺まで続く歩行者専用道路である。散歩で利用しているが、分断されて通れなくなるのではないかと心配である。
 - ・仙川沿いの遊歩道は、護岸ブロックで整備されたため親水性はないが、散歩する人が多い。遊歩道が分断されるとさらに魅力が低下してしまうのではないかと心配である。
 - ・もともと区市の境界が複雑な地域であるが、外環の整備で、地域が分断されて各区市の公共施設などの利用が不便になるのではないかと心配である。
 - ・外環の建設によって、目の前の場所に行きたくても遠回りしなければいけなくなり、利便性が悪くならないか心配。
-
- ・北野小学校の通学路を確保する。
 - ・都市計画道路補助 219 号線と都市計画道路補助 217 号線は、住宅地の真ん中を通ることになり、通学路の分断やコミュニティの分断が起こるのではないかと心配である。
 - ・地域が分断されると、より近くに学校があっても区市が違うので外環をまたいで通学しなければならない児童、生徒が出てきてしまう。

(3) 土地利用

【検討すべき課題】

- ・外環整備による、インターチェンジ・ジャンクション周辺部における土地利用の変化についての懸念

○関連する意見の例

- ・東八 IC ができることにより、周辺の農地が物流センターに変わるなど土地利用が変化するのではないかと。
- ・地価の低下を防止するため、特に地価下落が予想される給田 5 丁目など第一種低層住居専用地域の用途地域の見直しを行い、建ぺい率および容積率を上げる。

4. 安全・安心

(1) 交通安全・治安

【検討すべき課題】

- ・通学路や生活道路の交通量が増え、交通事故が増加するなど交通の安全性が低下するのではないかと懸念
- ・都市計画道路の整備等により、安全な歩行空間が確保されることへの期待

○関連する意見例

- ・現在、地区内道路は歩道が未整備であり、インターができて交通量が増えたとき、安全面で不安がある。
- ・生活道路に抜け道利用などの通過交通が増え、交通事故も増えるのではないかと心配である。
- ・烏山通りは、徒歩や自転車を利用する児童・生徒が多く、車が増えれば交通事故の発生が強く懸念される。安全確保のための対応策が必要である。
- ・烏山通りは狭い歩道を自転車と歩行者が利用しており、子供たちの安全を考えると新たな道路をつくるよりも烏山通りを改良するべきである。

- ・都市計画道路補助 219 号線沿いは、真暗なので、道路整備と合わせて、街路灯を整備してほしい。

(2) 災害・事故時の対応

【検討すべき課題】

- ・集中豪雨により、トンネル内の浸水や周辺地域の冠水被害が発生するのではないかと懸念
- ・災害発生時の避難路が確保できないのではないかと懸念
- ・ジャンクション・インターチェンジにおける交通事故の発生に関しての懸念
- ・地震発生時の耐震性に関する懸念

○関連する意見例

- ・地域の雨水排水に影響が出ないよう、排水計画を踏まえた整備とする。
- ・集中豪雨により外環のトンネル内が冠水して危険にさらされる心配がある。
- ・烏山川が、暗渠化で流量が減ったためか、中央自動車道ができてから氾濫し浸水被害がでるようになった。外環整備後も同様の被害がでるのではないかと懸念している。
- ・甲州街道ができてから付近が冠水するようになったため、外環整備後も同様の被害が出るのではないかと懸念している。
- ・雨水に対する対応基準が現状のものでは甘いのではないかと懸念している。この地域の土壌は浅い所に粘土層がありそこに水が溜まるため、環境施設帯で吸収できる水量が多いとは言えない。雨の日に道路が通行止めになれば、周囲の道に車が溢れて渋滞を引き起こす要因になる。
- ・外環の整備に伴う排水計画について心配している。
- ・排水については今後の検討課題だと言うが、このあたりでは排水先がないのではないかと懸念している。
- ・排水計画について、説明してほしい。排水については今後の検討課題だと言うが、このあたりでは排水先がないのではないかと懸念している。地域の地盤特性などを十分に調査した上で、きちんと考えて計画してほしい。

- ・小学校などの施設は災害時の避難所に指定されているが、ジャンクション構造物で地域分断され、避難所までの経路が遠くならないようにしてほしい。

- ・中央 JCT の構造が複雑であることにより、中央 JCT 内の走行が危険である。
- ・ジャンクションやインターチェンジの経路が複雑で、事故が起こるのではないかと心配である。
- ・他地域の地震で道路が倒壊しているため、構造物の耐震性がとても不安である。

5. 工事中

(1) 工事中の交通への影響

【検討すべき課題】

- ・ 工事車両が走行することによる周辺地域への影響についての懸念

○関連する意見例

- ・ 工事中の工事車両は相当多いのではないか。地域交通への影響を懸念する。
- ・ 工事では出る残土を運搬する車両の行き来が心配である。
- ・ 外環工事にかかわる工事車両が計画地から周辺に出てくるのが心配である。

(2) 工事中の環境への影響

【検討すべき課題】

- ・ 工事に伴う大気質、騒音・振動、粉塵等による環境への影響についての懸念

○関連する意見例

- ・ 工事車両が通行する場合の生活環境への影響に対応するため、外環整備を行う前に関係する三鷹都市計画道路 3・4・3 号線、3・4・11 号線等を整備する。
- ・ 工事中の工事車両は相当多いのではないか。生活環境への影響を懸念する。
- ・ 工事中の現場から砂ぼこりが発生して、周辺地域に飛んでくるのではないかと心配している。
- ・ 工事中の騒音、振動、粉塵対策にしっかりと取り組んでほしい。特に、自宅が外環の計画地に近いので心配している。

(3) 工事中の安全性

【検討すべき課題】

- ・ 工事中における事故の発生や交通の安全性の低下への懸念

○関連する意見例

- ・ 工事車両が通行する場合の一般道の安全性への影響に対応するため、外環整備を行う前に関係する三鷹都市計画道路 3・4・3 号線、3・4・11 号線等を整備する。
- ・ 工事関係の車両は、警察の許可を取って出入りすると思うが、警察の指導が行き届かないかもしれない。事故などが起きないか心配である。

6. 用地・補償

【検討すべき課題】

- ・移転先の確保、補償などへの懸念
- ・地権者へ用地補償についてのわかりやすい説明や丁寧な対応がなされるのかとの懸念

○関連する意見例

- ・事業が具体化しないので相続時に土地を売却して、その場所が住宅になってしまう。それをさらに買収するのは効率が悪い。
- ・相続税納税猶予制度を活用した生産緑地が外環の整備に合わせて収用されると相続税に加えて、延納分の利子税が納めなくてはいけない。
- ・日本女子体育大学は都市計画道路補助 219 号線、三鷹都市計画道路 3・4・3 号線の開通により敷地が四分分割されてしまう。機能を確保するために移転することは可能なのか。その用地補償はどうなるのか。分からなくて不安である。
- ・計画地内に住んでいる人と交友関係がある。近くに代替地が見つからずに遠くに引越してしまうと、近所づきあいがなくなってしまうようにしてほしい。
- ・昭和 41 年に決められた都市計画道路網は、生活環境や施設経営(用地補償)の面で問題が生じると考えられる。
- ・都市計画道路の計画線内の土地利用制限が指定後 40 年続いているが、整備する時期がはっきりしないために、建物の建て替えが自由にできず困っている。
- ・最近でも計画地内に住宅が分譲・販売され続けている。最近になって新しく住み始めた人たちを含めて、事業化の時期などを説明してほしい。
- ・都市計画道路補助 219 号線が大学のグラウンドの真ん中を通る計画である。グラウンドとしての利用が続けられるか心配している。
- ・外環や周辺の都市計画道路の整備に伴う用地補償について、地権者など権利関係者の合意形成が必要である。
- ・営農者にとっては、用地買収によって不整形で小さな土地が残った場合、営農が続けられなくなる心配がある。
- ・敷地の一部だけ削られると車の置き場や車の出入りができなくなる。高齢なので早急に今後の対策を考えたいが、計画線が確定ではないので対策が立てられない。

7. 計画検討の進め方

(1) 計画検討全般

【検討すべき課題】

- ・ 外環の整備に伴う、経済効果増大への期待

○関連する意見例

- ・ 外環や周辺道路の整備により、経済効果があがることにより、利益がある人もいる。

(2) 意見反映

【検討すべき課題】

- ・ 地区検討会での意見が計画に反映されないのではないかと懸念

○関連する意見例

- ・ 以前、ある民間の建築計画の際、住民側の出した提案が受け入れられた。外環の検討会でもメンバーの意見が反映されることを望む。
- ・ 烏山通りに関する意見はどのように反映されるのか教えてほしい。意見を聞き置くだけではなく、整備に反映させてほしい。
- ・ これまでは地域の問題に対して、住民の意見がほとんど通らなかったと感じているため、検討会に出ることもためらったが、言うべきことは言おうと思い参加した。今回は住民の意見がきちんと計画に反映されることを望んでいる。
- ・ 中央 JCT の敷地はほとんど三鷹市なので、面積の少ない世田谷の意見があまり反映されないのではと懸念している。

(3) 情報の提供

【検討すべき課題】

- ・ 地域住民への十分な情報提供への期待

○関連する意見例

- ・ 中央 JCT 上部の利用について検討するために、環境的、技術的、構造的な観点から中央 JCT の蓋かけ可能な部分を示してほしい。
- ・ 中央 JCT の三鷹市・調布市の検討会で行われた議論の内容を知りたい。
- ・ 換気所に関して、首都高中央環状線での影響に関する情報を示してほしい。
- ・ 交通量予測調査で、甲州街道(国道 20 号)の交通量が減る予測値に疑問が残る。予測の根拠を教えてください。
- ・ 大気質の予測で、NO₂ と SPM の現況濃度として深大寺南測定局の数値が使われているが、計画地とは条件が異なるため参考にならないのではないか。
- ・ 環境影響評価で、ジャンクション部の大気質への影響を予測してあるが、その評価が正しいものであったかを検証するために、外環開通後に、予測と同じ場所で計測して公表することを確約してほしい。
- ・ 都市計画道路補助 219 号線が大学敷地を通る計画である。校舎の改築やカリキュラム変更など影響が大きく、学校経営上の対応すべきことが多いので、都市計画道路補助 219 号線の整備時期を早めに教えてほしい。
- ・ 中央 JCT の建設に伴う既存道路の見直しや新規整備予定の一般道路のルート・構造などについて、でき

るかぎり詳しく知りたい。

- 東八道路周辺の大気質が現状で環境基準を超えているのではないかと心配である。東八道路をはじめ、主な地点の大気質の状態をおしえてほしい。
- 外環の排出ガスの影響について、幼稚園・学校だけでなく公園など不特定多数の人が集まる施設の詳しい予測データを住民等にわかりやすく伝えてほしい。
- 環境影響の予測結果を詳しく知るためには、分厚い評価書をしっかり読まなければならない。公告・縦覧などの中でわかりやすく説明を受けることができるとよい。
- 換気所が十分に機能しているか、継続的にチェックするために、将来にわたって排出ガス調査データを収集し解析してほしい。その解析結果も正確に情報開示し、他の場所の計画にも活用してほしい。
- 環境施設帯を地域住民が利用できるようにしてほしいと考えているので、利用方法を提案するために、使える場所や時期を教えてください。